

# 列島騒然へ「8・30行動」成功へ運動広げよう

全国商工団体連合会

## 全国で「戦争法案廃案！」の輪広がる

参議院で本格的な審議が始まり、違憲立法・戦争法案の本質と安倍政権に怒りが広がっています。7月31日には、「安全保障関連法案に反対する学生と学者の共同行動」が国会周辺で開催され2万5000人が参加。8月2日には高校生が呼びかけた渋谷デモに5000人が集まり「戦争法案絶対反対」の声をあげるなど、先週末だけで全国で10万人を超える人が無数のデモや集会に参加しています。「商工新聞」8月3日号のように、商売を通じ、店先や店舗で「戦争法案反対」の意思表示をする動きが急速に広がっています。情勢はいま、まさに「列島騒然」への大波が起こっています。地域から「8・30国会10万人包囲、全国100万人行動」成功にむけた運動を広げましょう。

### 政府「辺野古工事1カ月停止」発表！

菅義偉官房長官は4日午前の記者会見で、米軍普天間飛行場移設計画について、今月10日から9月9日まで1カ月、辺野古の一切の工事を停止し、県と移設問題について集中的に協議すると発表。県が求めているキャンプ・シュワブ沿岸域の臨時制限区域の立ち入り調査を認める方針を明らかにしました。これを受け、翁長知事が県庁で会見。「話し合いの努力は惜しまない。工事ストップは前進だ」と述べました。（琉球新報電子号外より）

### 「安倍政治おかしい」と班で討議

【長崎民商】

7月後半、各支部で班会が開催され「戦後70年」DVDを鑑賞して話し合いをすすめています。城山支部・3班会合同班会に7人が参加。DVDを鑑賞後、「戦争法案は政府がどんなに説明してもおかしい」「これが通れば日本は戦争する国になる」と、自身の戦争体験を交えて「孫の時代をそんな日本にしてはいけない」と話し合いました。浦上支部・合同班は、DVD鑑賞後、支部長の菊田さんの被爆体験を聞き、憲法9条を守っていくことの大切さ、戦争法案反対署名を集めていこうと話し合いました。8人が参加した住吉支部・合同班会は「安倍首相に子どもや孫がいたら戦場に出せるのか」「政治家は、危険なところにはいかない」「無責任だ」など怒りが出されました。

## 「戦争法案反対」で業者訪問

【愛知・名古屋東部民商】

7月26日、岡田拡大推進委員長を先頭に役員6人で筒井町商店街の業者訪問。商工新聞の見本紙を手渡し、「安倍首相が進めている戦争立法に反対する署名に協力してほしい」と訴えると、ほとんどが「国会のやり方おかしい」と応じてくれました。猛暑の中、1時間で10人が署名。「戦争はいけない。お客さんにも書いてもらうから用紙を置いておいて」（喫茶店）、「商売を続けていくのは難しい。新しいことも取り入れないと」（居酒屋）など、交流ができた行動となりました。

## 「戦争はいやだ！」盛岡デモに青年部参加

【岩手・民商青年部】

7月25日、盛岡市内で、「私たちは絶対に後戻りしない7・25デモ」が行われ、約100人が参加しました。盛岡民商青年部から6人、胆江、陸前高田民商の青年部員も参加しました。音楽のリズムに合わせて県青協の岩本議長が軽妙なコールでアピールしました。

## 女性の願いにめ多彩に行動

☆新潟・三条民商婦人部では、被爆70年の今年、千羽鶴を平和への願いを込めて作りました。「平和でこそ商売繁盛」の思いと戦争法案反対の怒りも込めた千羽鶴は、原水爆禁止世界大会の参加者に託します。

☆長崎県婦協は7月26日、「核兵器なくそう！ 業者婦人平和のつどい」を開き、県内から100人が参加しました。原爆被災者協議会講堂で開催し、資料館も見学。講演「被爆の実相と核兵器廃絶の展望」やNPT再検討会議の参加報告を受けた後、全体で討議。「二度と戦争はしてはいけない。広島・長崎の県民をはじめ、日本中の人々が反対行動を行い、戦争法案を廃案に」など、思いを出し合いました。最後に、「長崎の鐘」を全員で合唱し、平和を願う思いを一つにしました。

